

演題：「チャンスの掴み方」

期日：令和4年10月28日（金） 会場：七戸高等学校体育館

期日：令和4年10月28日（金） 会場：十和田西高等学校体育館

【講演の記録】

《自己紹介》

株式会社コミットという会社の代表であり、AOSUKI（アオスキ）という首都圏で活躍する青森出身の経営者を中心にいろんな活動をやっているグループの事務局をやっている。そしてもう一つ、アクティブ・ブレイング協会という記憶術の認定講師をしている。七戸町、天間林出身。

本日は「チャンスの掴み方」というテーマで、チャンスを掴んで自分を幸せにしていくことは人生を生きていく上ですごく大切なことだと思うので、私なりに感じていることをお話ししていきたい。

1 AFS（アオスキフューチャーセミナー）について

スライドの写真はAOSUKI（アオスキ）のグループの仲間で、青森県人の社長、もしくは青森で仕事をしていたことがある人（厚生労働省の人、RABアナウンサー、居酒屋経営、ドローン撮影の会社社長、柔道整復師、公認会計士等）で、東京で活躍している青森県出身の経営者40人ぐらい。この人達と東京で集まり、情報交換をし、青森というキーワードでいろんな活動をしていて、遠く離れた東京からでも青森の人たちと繋がりながら広げていくということをやっている。

目標（キャッチフレーズ）は、「青森県・青森出身者を元気にする」こと。今年は、首都圏で活躍する青森県出身の経営者や社会人が、修学旅行の中学生に仕事について授業し、貢献ややりがい、大変さや、喜びについて語ることを行った。経営者は、人生をやり直すならどうするかと聞かれると、皆もう一度同じが良いという。それは楽しい人生を送っているから。中学生たちの逆フィードバック（青森で自分達が働きたい会社をプレゼンし、どうやったらうまく行くかを経営者に聞く）もある。学校外の社会は広い。沢山のひととふれあい、自分の知らない世界を知り、喜びや楽しみを増やして欲しい。このように仲間と自分たちの目標を見つけて楽しみながら成長するということが人生そのものを充実させる。このような仲間と出会えたことは財産。

2 青森県の魅力「自然・文化・美味しい食、温かい人」

青森には自然、文化、おいしい食、温かい人、魅力がたくさんある。（十和田湖、八甲田、岩木山、白神山地、恐山、酸ヶ湯、蔦温泉、下風呂、縄文、日本海、太平洋、陸奥湾、りんご、ごぼう、いかなど、日本一である。）青森県出身者が東京の人に青森を案内している。

十和田湖はモーターボート、カヌーも楽しめる。明日、東京から友人が来てナイトカヌーをやる。蔦温泉は最高の癒やし。祭りも最高。八戸、むつ、五所川原、七戸など県内各地の祭り、文化と人の暖かさが伝わる。トマトや、朝獲りの生で食べるトウモロコシはおいしい。八甲田山の大自然の中の乗馬を楽しむ。東京では出来ない、地元でしか経験できないから青森に来たいとなる。大自然の中での体験は感性が豊かになる。それは人間として一番大事なことだと思う。青森で育てている皆さんはとてもうらやましい。都会と青森の良さを比べるものじゃない。お互い良いものなのだから。

3 株式会社コミット 「夢しか実現しない」

縄文時代は何もなかった。現在は、こんなものがあつたらいいな、と人間が作ったものがあふれている世界である。飛行機は、鳥を見ることで、飛べるものを人間が作ったものである。夢が実現する世界。その夢を楽しんで欲しい。

会社は社会参加の窓口で社会を変える窓口。色々な分野がある。新しいことを生み出し、進化させ社会を変えていけばいい。

- ・ミッション「お客様第一のイノベーションの実現」（パソコンを介して会社を進化させる）
- ・ビジョン「お客様をファンにする」（良いサービスを提供し、喜んでもらい、リピートしてもらう。）
- ・ビッグビジョン「千年企業」（百年企業はありきたり。次の人、未来の人に何かを残せる会社にしよう。）

自分の会社は若く元気である。システム開発（マイナンバー、ゆうちょ）、DX推進事業（クラウドサービス事業）を行っている。港区虎ノ門にオフィスがある。昨年引っ越したのだが、普段テレワークだから皆が行きたい場所にといいのと、人と話しやすい場所は皆が意見をぶつけ新しいアイ

ディアが生み出されるので、駅直結で中央省庁と皇居を眺められる景色の場所にオフィスを置いた。2003年3月創業。来年20歳(周年)。年商は昨年9億であり、今年は10億を達成する見込みである。社員数74名。平均年齢29歳。新卒5年以内の定着率90%。なぜ定着率が高いか。それは、会社が楽しいから。人間は、楽なことより楽しいことをやりたいもの。

(ドローンで撮影された会社の映像を視聴)

2016年 中小企業白書「未来を拓く 稼ぐ力100社」(400万社あるうちの100社)に選ばれた。「稼ぐ」とはお金もうけをすることで、悪いと思うかもしれないが、仕方が大事である。お客さまに感謝されてお金をもらう。その結果、お金が集まる。そんな仕事が出来れば良いのではないか。資本主義の良い所はお金を払えばサービスを受けられる。分業化され、その道を極めた人のサービスは素晴らしい。自分ではできないものである。大人になったら得意分野で頑張ってお客を喜ばせ感謝されることで、お金を稼いで欲しい。結果としてお金が入ったら、使って欲しい。お金を使うというのは自分の家族、仲間とサービスを分かち合うこと。生きているうちにたくさん楽しいことをして欲しい。

4 チャンスの掴み方 出会いこそ最大のチャンス

生まれてすぐにチャンスはない。就職して、社会に出て、チャンスを掴んでいかなければならない。初めて人と出会った時、人が何かに巡り合うことでチャンスは訪れる。その時にチャンスを掴めるかどうかで人生が変わっていく。人生は誰かに与えてもらうものではなく、自分の手で掴んで、自分で決めていかなければならない。人と比べず、自分を信じていくことが大事、人間関係で一步でも前に進んでいけば道は開ける。

自分は3度の倒産(父の会社が2度、自分の勤めた会社が1度)を経験してどん底を味わったが、現在、自分らしくチャンスを掴んで、自分らしい人生を送ってきた。建設業だった父親の「仕事は人の未来を作るお役目」という仕事観に大きな影響を受けた。父は住む人の10年後を考えて家を作っていた。仕事は人の未来を創ること。小学生3年生の時、一度目の倒産で長野から青森へ来たが、長野時代の担任の先生の言葉が心の支えだった。夜逃げする時に私物を紙袋に入れてもってきて「あなたなら大丈夫」と言ってくれた。「期待・承認・賞賛」。これは支えになる。辛いときは、自分を信じて、自分の精一杯を出して、他人に依存しないことが大事である。そして、青森に行つて、中学3年生の時に両親が交通事故に遭い2度目の倒産をした。母親が保険の外交で一家を支えた。高校に進学するが、将来の明るさはなく大学進学を諦めた。社会人になり、訪問販売の営業マンになる。歩合制だったが、お客さんのことを考え売ったので、信頼を積み重ねることができ、営業成績は良かった。21才の時に友人が作ったIT企業に転職した。営業をしたが、自分の好きなものでなければ勧められない。まず、最初にするのは自社の製品を好きになることだ。ITは形がないので、現場で雑用を行うようになった。そして、バブルが崩壊し3度目の倒産を経験した。その後、フリーランスのエンジニアになる。土日、夜間など人のやりたがらない仕事をとにかくやった。その際にITのエリート企業と同じチームで仕事をして、いろいろなことを覚えるきっかけとなった。業界同士との出会いについてだが、業界の人はライバルだとしても共通の目的を作ると仲間になる。自分に与えられた機会を一生懸命やっていると、うまくいなくても誰か助けてくれる。一人で頑張るよりは、周りの人と一緒に頑張る。そうしてチャンスを掴んでいくというのが大事だと思う。

株式会社コミットは35才からの挑戦で「恩おくり」の始まり。夢しか実現しない。人を育てようという思いから16年連続で新卒者を採用している。一期生は38才になった。

●チャンスの掴み方のまとめ

- (一)①楽しくやる 前向きに面白がってやる。
- ②仲間をつくる 共通の目標を作る。一人でやるより大きなことができる。
- (二)①笑顔
- ②挨拶、声をかける
- ③ピッチスピーチ(話しかける、ご縁の始まり、心を動かすのは熱い言葉)
- (三)成功者に共通する行動「人の話を目で聞く」

人間には五感があり、目から脳に入る情報量がすごい。目から脳にダイレクトに入った情報は映像になる。言葉は不完全。自分で相手がどう未来を映像として見ているのかを考え、自分も一緒に見ることが大事である。

5 記憶はスキル（技術）。頭の良さは生まれつきではない

言葉は後からの能力で不完全である。「りんご」を絵に描くと人それぞれで違うが、皆頭にリンゴの実態をイメージしている。スピーチ原稿でもそうだが、文字は暗記できないが、頭の中でイメージしたものでスピーチできる。人は色々体験するが忘れる。扁桃体は感情を司る。おもしろいや楽しい記憶、嫌や怖いなどの危険を避ける記憶を人は覚えているもの。仕事でも勉強でも楽しんでやること。感情、感動と共に楽しく覚える。そうすると覚える。

〈最後に〉

出会いこそ最大のチャンス。出会いを活かすために、明るく、楽しく、生き生きと！
もし、首都圏に来たら、AOSUKIに会いに来てください。チャンスを掴んで次世代を作っている、いろんなタイプの皆さんの参考になる人がいると思う。
今日から友達になろう！何かしてあげられることがあるかもしれないし、そこから何か生み出せるかもしれない。今日の皆さんとの出会いに感謝。